

開催報告

埼玉大学社会変革研究センターの防災減災への取組：

実用型マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダの講演と見学

実施日時：2025 年 11 月 13 日（木） 13：30-16：00

実施場所：工学部環境社会デザイン学科 3 号館 3 階セミナー室

概要

現在、全国で局地的大雨や竜巻による被害が社会問題となっており、それへの施策が課題になっている。そのような背景のもと、日本技術士会関東支部からの依頼により、技術士の方々が防災・減災機能の強化策への知識を深め、技術士の資質向上を図ることを目的に「実用型マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダの講演と見学」が開催された。参加者は日本技術士会の会員 25 名であり、専門技術分野としては延べ 13 分野（全 21 分野中）から、40 代前半から 80 代前半の方々が参加された。下記に示す 3 つの講演の後、3 班に分かれて気象レーダの見学を行い、その合間に講演に対する質疑応答を行った。

実施内容

- 1) 開会挨拶 日本技術士会埼玉県支部 石田 正雄支部長 13：30-13：35
- 2) 講演
 - ①レジリエント社会研究部門の概要 13：35-14：45
齊藤正人（レジリエント社会研究部門 部門長 理工学研究科教授）
 - ②気象レーダ(MP-PAWR)の研究開発 13：45-14：35
佐藤晋介（情報通信研究機構 電磁波研究所 リモートセンシング研究室）
 - ③気象レーダのデータを使った地域防災への取組み 14：35-14：55
長田昌彦（レジリエント社会研究部門 理工学研究科教授）
 - ④Q&A 担当：長田昌彦 14：55-15：05
- 3) MP-PAWR 見学 担当：佐藤晋介氏，河谷能幸氏（NICT） 15：05-15：55
- 4) 閉会挨拶 日本技術士会埼玉県支部 菅原 宏副支部長 15：55-16：00



登壇いただいた方々（左から、石田支部長，齊藤部門長，佐藤氏，長田氏，菅原副支部長）



会場の雰囲気（司会：村山氏，事務：鹿毛氏）



見学会の一コマ（河谷氏（写真右）による説明）



気象レーダをバックに記念撮影